

# 「令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について」

【日吉台小学校】

令和4年4月19日（火）に、小学校第6学年全児童、中学校第3学年全生徒を対象として、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。本市の小学校の結果についてお知らせします。

## 1 児童が受けた調査について

「国語」、「算数」、「理科」「児童に対する質問紙調査」の調査が実施されました。それぞれの内容は下記のとおりです。

### 教科に関する調査

- (1) ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等  
②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※出題範囲：原則として調査する学年の前学年までに含まれる指導事項

### 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

\*調査問題は「国立教育政策研究所」のHPで閲覧できます。

<http://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>

## 2 本市児童の調査結果

本市児童の調査結果及び分析は以下のとおりです。

(1) 教科の正答率について (※ 全国公立小学校の平均正答率 (以下全国平均) との比較)

国 語	学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づき、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題	B
算 数	学習指導要領における、「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の各領域に示された指導内容からバランスよく出題	B
理 科	学習指導要領に示された目標及び内容に基づき、「A 物質・エネルギー」、「B 生命・地球」の二つの内容区分からバランスよく出題	B

☆ 全国平均正答率との比較について

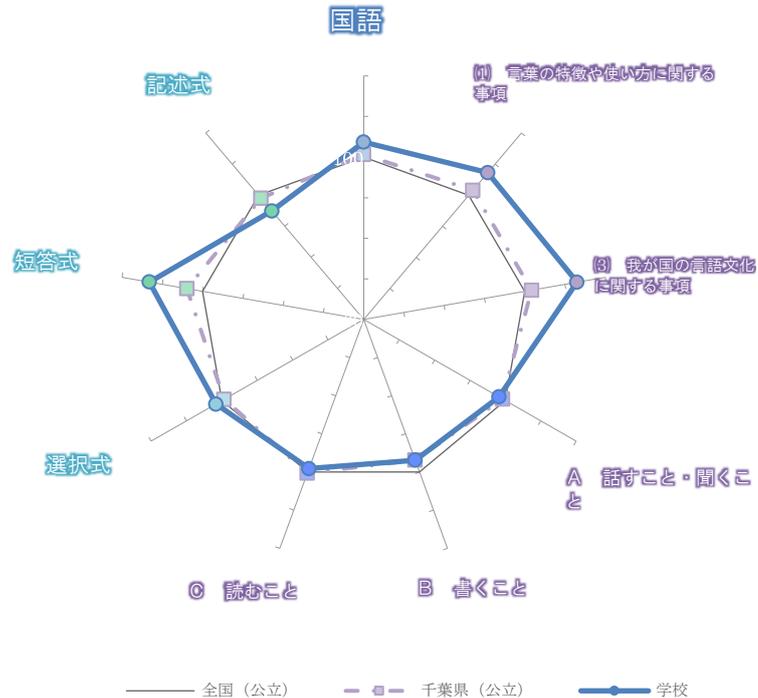
A：+5.0%より上回っている場合「良好」

B：+5.0%～-5.0%の場合「ほぼ同じ」

C：-5.0%より下回っている場合「要改善」

## (2) 教科ごとの分析

### 国語



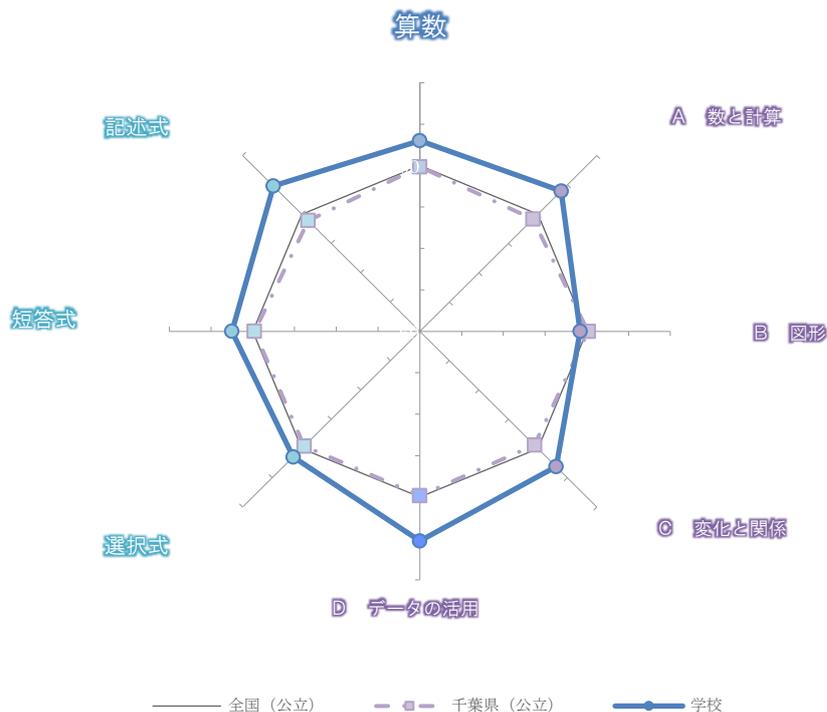
#### 【特徴と現状】

- 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える問題では、高い正答率が得られました。「読むこと」の中の「構造と内容の把握」に関する力は身に付いていると考えられます。
- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く力も身に付いています。
- 漢字の書き取りでは、平均点は全国や県の得点を上回っていますが、「反省（はんせい）」の漢字の書き取りについては、正答率がやや下回っていました。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像することについては課題が見られました。

#### 【改善方策等】

- これからも引き続き、ドリル学習などを通して漢字の読み書きが確実に定着するようにしてまいります。また、学習した漢字を短作文等で積極的に活用する場面を設けて、漢字を書き取る力が一層定着するよう努めてまいります。
- 登場人物の行動や気持ちを読み取る力は定着していることがわかりました。物語に描かれている背景や、登場人物の思いを場面ごとに捉えさせ、それを基に、総合して判断してまとめた自分の考えを友達と交流することができるよう、児童の実態を見ながら、人物像や物語の全体像を想像する活動を取り入れてまいります。
- 「書くこと」については、各教科の授業において、書くという場面を設定し、どのように書けば読み手に目的や意図が伝わるかという指導をしてまいります。また、教師による添削も行い、きめ細やかな指導に努めてまいります。

## 算 数



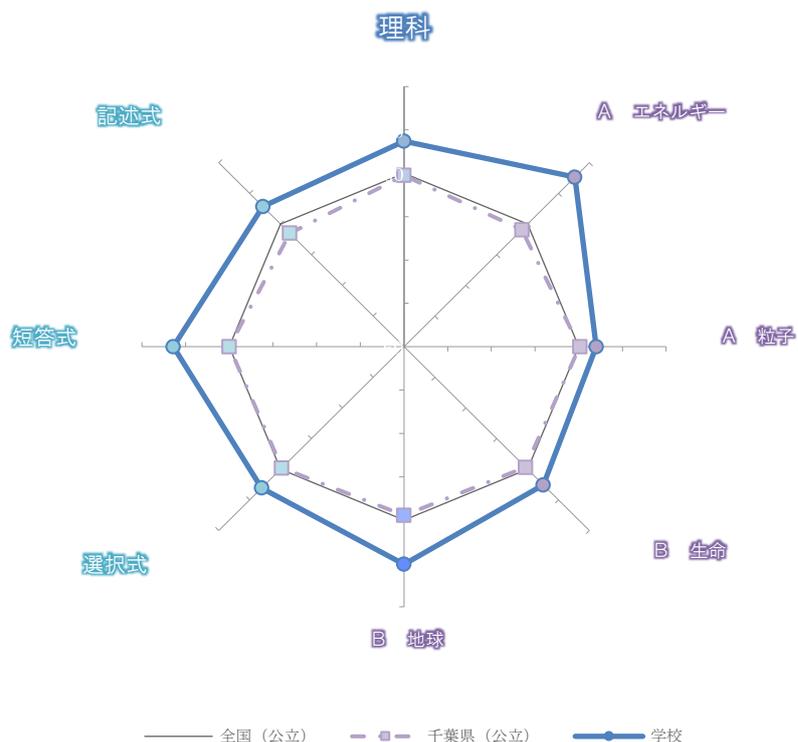
### 【特徴と現状】

- 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取る問題では、高い正答率が得られました。グラフ読み取りの力は十分に身に付いていると考えられます。
- 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる力が身に付いていることがわかりました。
- 辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかく問題では、課題が見られました。ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解をさらに深めていく必要があります。

### 【改善方策等】

- これからもドリル学習や「とみの国」検定の練習などを通して、基礎的・基本的な計算力が身に付くように努めてまいります。
- グラフを読み取る力は身に付いています。今後は、基本的なグラフの読み取り方の指導に加え、より複雑なグラフを読み取ったり、データからグラフに適切に表現したりする発展的な学習も取り入れ、さらなる活用能力の向上を図ってまいります。
- 図で示された場面から計算方法を考え、その理由を説明することができています。これからも、自分の考えを相手に伝える活動を通して、筋道の通った説明ができる力の向上を図ってまいります。
- 図形の構成や性質について、また、プログラムの構成において、課題が見られました。作図などの活動を通して図形の構成について理解を深めること、及び、プログラミング学習に関するスキルの向上に努めてまいります。

## 理 科



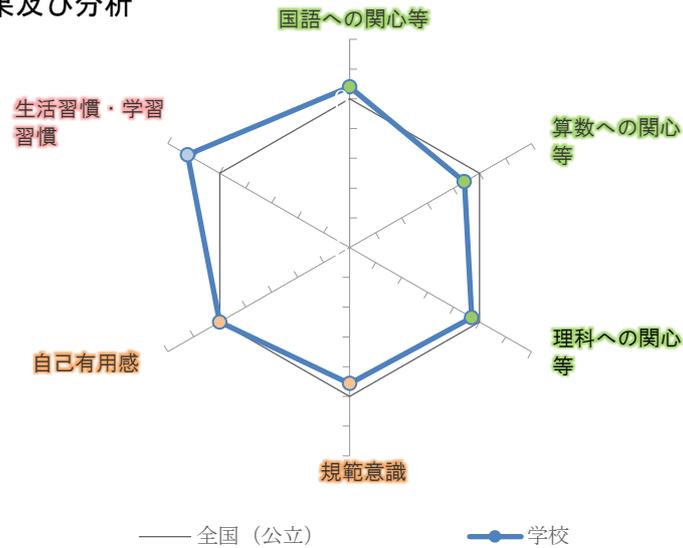
### 【特徴と現状】

- 太陽の移動により鏡ではね返した日光の位置がずれてしまったものを修正する手順を答える問題では、高い正答率が得られました。変化した状況を捉え、対応方法を見つけ出す力は十分に身に付いていると考えられます。
- 夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ力が身に付いていることがわかりました。
- メスシリンダーの正しい扱い方を問う問題では、課題が見られました。再度、実験器具の扱い方について理解をさらに深めていく必要があります。

### 【改善方策等】

- これからも実験や観察などの活動を通して、物事を科学的に捉える力が身に付くように努めてまいります。
- 実験や観察の状況変化に対応する力は身に付いています。今後も、方法や結果が自分の発想したものと違っている場合でも、これまでの経験から適切に考察できる能力の向上を図ってまいります。
- 実験器具の取り扱い方法について、課題が見られました。それぞれの実験器具を使用する目的を理解し、様々な場面で実際に扱う機会を設け、操作スキルが向上するよう、努めてまいります。

### (3) 児童質問紙の結果及び分析



#### 【特徴と現状】

- 「毎日同じくらいの時刻に寝ている」という児童の割合は、全国平均よりも高いことが分かりました。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」で「当てはまる」と回答した児童の割合は、全国平均よりも 15.5 ポイント上回っていました。決められたルールは守っている児童が多いことが分かりました。
- 「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」で「当てはまる」と回答した児童の割合は、全国平均よりも 12.6 ポイント上回っていました。自主的に学習活動ができる児童が多いことが分かりました。
- 「国語の勉強は大切だと思いますか・将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」で肯定的な回答をした児童の割合は、全国平均よりも高い傾向にありました。国語の学習の有用性が実感できている児童が多いことが分かりました。
- 逆に、「算数や理科の勉強は大切だと思いますか・将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」で肯定的な回答をした児童の割合は、全国平均よりも低い傾向にありました。算数や理科の学習の有用性を実感させる学習を充実させていく必要があります。

### 3 まとめ

学校においては、これからも引き続き、基礎的・基本的な学力が定着するように努めてまいります。また、算数と理科への関心については、学ぶ意義や楽しさについて感じることができるよう指導法などを工夫してまいります。さらに、自分の考えを文章に書く活動を一層充実させるとともに、児童の実態に応じて発展的な問題を扱ったり ICT 機器を活用したりして、さらなる学力向上を目指すとともに学んだことの有用性を感じられる授業改善を継続してまいります。生活習慣・学習習慣の項目において高い数値が得られていることから、学校だけでなく、家庭の協力を得られているものと考えられました。今後も、自他を大切にする教育活動を継続してまいります。引き続きご支援とご協力をお願いいたします。